

たのしい夏まつり支援事業

[738]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0101	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	たのしい夏まつり実行委員会 市民	<ul style="list-style-type: none"> ・尾張旭まつり(さくらまつり、たのしい夏まつり、市民祭、農業まつり)のうちの1つ。 ・企画から運営まで市民組織のたのしい夏まつり実行委員会が実施。8月下旬に開催。 ・ふるさとづくりを応援するという立場から、実施費の一部を市が負担。たのしい夏まつり実行委員会に対して助成金を交付。 ・ふれあい夏まつりに対し、平成16年度から花火実施費として400万円(市負担率100%)を追加計上。また、花火実施に伴い、会場警備として職員の配備も行った。 ・ふれあい夏まつり実行委員会が平成23年度の夏まつりで解散したため、平成24年度以降は新たな実行委員会であるたのしい夏まつり実行委員会により、たのしい夏まつりが開催される。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>参加する市民が増え、充実したたのしい夏まつりが開催される。</p> <p>H24 700万円(新実行委員会による新たな夏まつり開催) H25 700万円 H26~29 720万円</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	市負担金額	千円	7,200	7,200	7,200	7,200
	市負担比率	%	72.0	78.9	72	73.5
成果指標	参加者数	人	30,000	32,000	30,000	33,000
	たのしい夏まつりに満足している人の割合	%	10.3	-	18	10.7
事業費 計			7,200	7,200	7,200	7,200
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	7,200	7,200	7,200

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 来場者数は一定規模で推移している。「たのしい夏まつりに満足している人の割合」は、前回アンケート結果(10.3% H27)からほぼ横ばいである。 (原因) 天候に左右されるイベントであることや、実施主体が自己資金を持たない市民団体(市負担金のほか、参加者からの負担金、協賛金により運営)であることから、大幅な向上は難しい。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

尾張旭まつり支援事業

[743]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0102	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭まつり実行委員会 市民	<ul style="list-style-type: none"> 『尾張旭まつり』には、「さくらまつり」「たのしい夏まつり」「市民祭」「農業まつり」の4つがあり、それぞれ担当事務局を編成。これらを取りまとめる事務局を市民活動課が担当。会議の開催その他の庶務を実施する。 市が尾張旭まつり実行委員会事務局費を負担。主な使途は、会議費・各まつり共通で使用する消耗品や封筒印刷など。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
参加する市民が増え、充実した尾張旭まつりが開催される。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	市負担金額	千円	94	94	94	94
	市負担比率	%	100	100	100	100
成果指標	のべ参加者数	のべ人	109,000	110,000	110,000	94,500
	尾張旭まつりに対する認知度	%	13.5	-	23	12
事業費 計			94	94	94	94
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	94	94	94

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 来場者数は一定規模で推移している。「尾張旭まつりに対する認知度(各まつりに来年も行きたいと回答した割合の平均値)」は、前回アンケート結果(13.4%・H27)から微減。 (原因) 年度間の増減は、天候や、桜の開花状況など気象状況による影響が大きいため、来場者数は横ばい傾向と思われる。指標とする数値(来年も行きたい)は低下傾向であるが、同アンケートの「行ったことがある」と回答した割合は微増傾向にあるため、より魅力ある企画の実施に努め、リピーターの増加へつなげる必要がある。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民祭開催事業

[735]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0103	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市商工会員 ・市民祭実行委員会 	<p>尾張旭まつり実行委員会への負担金(市費)と各種協賛金(特別協賛・チラシ広告協賛・市出店協賛など)により、市民祭を開催する。</p> <p>日時 平成29年10月14日(土)、15日(日)午前10時~午後4時</p> <p>会場 城山公園、スカイワードあさひ一帯</p> <p>主催 尾張旭市まつり実行委員会、尾張旭市、尾張旭市商工会</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ、金管バンドパレード、食の広場、こども広場、商工会スタンプラリー、フリーマーケットなど ・災害時相互応援協定を締結している石川県輪島市から御陣乗太鼓を招待し、ステージで披露 <p><同時開催イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張旭駅前にぎわいフェスタ、消防ひろば、消費生活展(14日) ・名古屋産業大学、名古屋経営短期大学の大学祭(両日)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種催しを通じて市民相互の交流が図られるとともに、地域に愛着を持つことができる。 ・市内商工業者がまつりに協賛、出店することで、地域の産業が振興されている。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	延べ来場者数	人	43,000	32,000	35,000	31,000
	参加団体の数	団体	187	178	180	207
成果指標	市民祭への参加率 尾張旭市「まちづくりアンケート」結果参照	%	67	67	70	69.4
事業費 計			14,000	9,500	9,500	9,500
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	14,000	9,500	9,500

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	来場者、参加率ともに横ばいである。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

さくらまつり開催事業

[736]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0104	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 来場者 市観光協会 写生大会優秀作品選出者 	城山公園一帯(スカイワードあさひ、旭城含む)でさくらまつりを開催する。 ・主催 尾張旭まつり実行委員会、尾張旭市 ・期間 4月1日～10日 ・内容 ぼんぼりの点灯、夜桜ライトアップ 写生大会(小学生以下対象) 期間中の土・日曜日にイベント開催(ステージショーなど) 文化協会茶華道部会による茶会 平成20年度以降、まつりの運営を尾張旭市観光協会に委託している。 写生大会優秀作品の表彰式・展示 ・期間 5月下旬～6月上旬 ・会場 スカイワードあさひギャラリーあさひ
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場である城山公園、旭城及びスカイワードあさひ一帯の桜が多くのかたに知られている。 さくらまつりの各種催しが市民の交流の機会となっている。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	さくらまつり開催期間中の来場者数	人	23,000	37,000	35,000	20,500
成果指標	さくらまつりの認知度	%	89.4		92	88.7
事業費 計			4,100	4,100	4,250	4,200
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		4,100	4,100	4,250

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) さくらまつりの認知度は、H24は88.2%、H27は89.4%、H29は88.7%で微増減しており、横ばいの状況で計画値達成が難しい。 (原因) 既にチラシの全戸配布など各種周知を行い、一定の認知度を獲得しており、これ以上の具体的方策が見当たらないため。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

農業まつり支援事業

[737]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0105	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民・まつり来訪者	手段(事務事業の内容、やり方、手順) ・あいち尾東農業協同組合により、11月下旬の日曜日にスカイワードあさひ一帯を会場に開催。 (16年度までは、市民会館、その周辺で行っていた。) 主な内容は、農産物品評会、直売、盆栽展示、野菜栽培講習、ステージショー 当日の運営スタッフは、農協職員のほか市職員、委託警備員 平成28年度 平成28年11月27日(日)実施 平成29年度 平成29年11月19日(日)実施予定
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	市民相互の交流が図られている。 ・農業文化に触れ、ふるさと意識が高まっている。 ・市民の農業に対する理解と親しみを深めている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	延べ来場者数	人	11,000	9,000	9,500	10,000
成果指標	農業まつりへの参加率	%	13	11	11	12.0
事業費 計			2,381	2,380	2,383	2,380
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,381	2,380	2,383

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 農業まつりの参加率は昨年度実績と比べ1.0ポイント向上した。 (原因) 市民の農業に対する関心が高まっていると考えられるため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

尾張あさひ苑維持管理事業

[745]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0201	実施計画	対象
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	観光・レクリエーション資源の充実	担当	総務部 財産経営課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	施設 尾張あさひ苑利用者	施設の設備については、利用者が安全で快適に尾張あさひ苑を利用できるよう、設備の保守点検、改修、修繕等を実施し、適切な管理運営ができるように努める。 尾張あさひ苑の利用拡大を図るため市広報誌やホームページにPR記事を掲載する。 平成17年度までは施設管理運営業務を施設管理協会に委託していた。 平成18年度から指定管理者制度へ移行しており、指定管理者が行う業務について、定期的に報告を受け協議等を行う。 平成22年度に尾張あさひ苑のあり方検討会を設置し、尾張あさひ苑の存廃を含めた検討を行い、平成23年10月に検討会から提言書が提出され、平成24年3月には報告書が提出された。 平成27年度に外壁・屋上防水改修工事施工 第3期指定管理の指定管理期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日 平成33年4月からの第4期指定管理に向け、次期指定管理者の選定方法を一般公募で実施できるよう選定方法を見直す。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	委託料(指定管理料)	千円	22,000	22,500	22,500	22,500	
	年間開館日数 (平成28年度までの指標：維持管理に関する協議回数(数値は<>))	日<回>	351<6>	358<6>	358	357	
成果指標	尾張あさひ苑利用者数(宿泊者、日帰入浴者)	人	15,315	15,358	18,000	14,421	
	年間使用部屋数 (平成28年度までの指標：修繕発生件数(数値は<>))	室<件>	4309<14>	4527<4>	4,654	4,163	
事業費 計			50,121	23,200	23,211	24,680	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		1,100			
		オ 一般		49,021	23,200	23,211	24,680

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「尾張あさひ苑利用者数(宿泊者、日帰入浴者)」は前年度実績と比べ6.1%低下しています。 (原因)秋の行楽シーズンの土日が、雨や台風の接近によりほぼ毎週悪天候だったこと、冬(年末)についても例年に比べかなり気温が低かったことから、客足が大幅に遠のいたため。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	指定管理者の指定方法について、次期指定管理期間に向け、見直しの準備をすすめます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

次期指定管理期間における尾張あさひ苑の運営方法について、検討を実施しました。

市観光促進事業

[750]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0202	実施計画	対象
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	観光・レクリエーション資源の充実	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市内観光施設利用者(市外からの来訪者含む) ・尾張旭市観光協会 ・愛知県観光協会 	市観光協会への支援 ・H15年11月 尾張旭市観光協会設立 ・観光振興事業費補助金の交付(H16~) 観光に関する行事の実施及び宣伝に関する事業 観光事業に関する情報の収集及び提供に関する事業 特産品の研究及び開発に関する事業 観光協会管理運営事業 その他観光振興に関する事業 愛知県観光協会への負担金支出 平成29~31年度にかけて行われる「愛知デスティネーションキャンペーン」に参加するため80千円増額
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
観光協会と連携し、観光・レクリエーション資源の充実に努めるとともに、より多くの人々が本市の良さを知り、観光スポットや各種催しに来場・参加している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	尾張旭市観光協会補助金・愛知県観光協会負担金総額	千円	1,665	1,765	1,845	1,845
	既存観光施設を活用したイベント延べ参加者(さくらまつり、たのしい夏まつり、市民祭、農業まつり)	人	107,000	113,000	120,000	93,500
成果指標	観光・レク施設に対する市民満足度	%	57.2	57.2	60	56.0
	観光協会が行った事業数	件	24	21	25	22
事業費 計			7,833	1,765	1,877	3,347
財源内訳		ア 国	5,994			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,839	1,765	1,877	3,347

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)観光・レク施設に対する市民満足度は、H28の57.2%からH29の56.0%に若干低下したが、観光協会が行った事業数は、1件増加した。 (原因)観光・レク施設に対する市民満足度が向上していない原因について、観光地となるような場所が少ないというイメージが定着していることが一因と考えられる。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

マラソン支援事業

[1247]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0203	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	観光・レクリエーション資源の充実	担当	企画部 企画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民マラソン大会参加者 尾張旭森林マラソン実行委員会 意図(対象をどのような状態にしたいのか) ・多くのランナー・ボランティアが参加し、安全性の高いマラソン大会が開催される。 ・毎年度継続可能なマラソン大会が計画される。	尾張旭森林マラソン実行委員会が主催するマラソン大会の支援を行う。 <支援内容> ・上限100万円の負担金(安全対策、尾張旭市のPR及び森林公園のPRに係る費用の1/2) ・尾張旭森林マラソン実行委員会への参加 ・道路使用許可申請に係る警察との協議の支援 ・開催が決定した場合の市広報誌でのPR <開催実績> 【尾張旭森林マラソン2016】 開催日:平成28年12月4日(日) 種目:フルマラソン、ハーフマラソン 【尾張旭森林マラソン2017】 開催日:平成29年12月10日(日) 種目:ハーフマラソン、10kmマラソン、ビギナーマラソン

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	マラソン大会開催に関する外部打合せ等回数	回	4	4	5	4
	マラソン大会開催に関する市広報誌掲載記事数	件	2	2	2	1
成果指標	マラソン・ボランティア参加者数	人	755	573	1,100	543
	マラソン大会当日の重大事故件数	件	0	0	0	0
事業費 計			1,000	1,000	1,000	1,000
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,000	1,000	1,000

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	参加者数が年々減少傾向にあり、平成29年度の実績は目標の半分程度に留まっている。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	マラソンの支援については引き続き行うとともに、安全性の確保について、適切な支援が行えるよう庁内の体制を検討します。		
実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	第1回から同額の負担金を拠出しているとともに、企画課職員が業務として当日の運営補助に従事している。		

国際交流事業

[753]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0301	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	国際交流・地域間交流の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民、在住外国人、市内を拠点に活動する国際交流団体	<ul style="list-style-type: none"> 市内を拠点に活動する国際交流団体に対し、その事業費の一部を補助する。 市民祭会場に国際交流団体と共催で「国際交流コーナー」を設け、市民祭来場者(日本人・外国人)に交流の場を提供する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><実施内容>(実施主体は尾張旭国際交流会・市共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> カントリーブレゼンテーション 国際交流コンサート 外国語講座 インターナショナルクッキング 国際交流フェスティバル 市民祭「国際交流コーナー」
	市民と在住外国人との各種交流を支援することによって、草の根的な交流ができている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	国際交流活動を行う団体の年間活動回数	件	85	94	80	90
成果指標	国際交流団体が主催する交流事業に参加した市民数	人	1,559	1,514	1,500	1,579
	国際交流団体が主催する交流事業に参加した外国人の数	人	578	591	1,000	610
事業費 計			287	287	287	282
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	287	287	287

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>国際交流は、市民主導で自発的に行われるほうが多角的に展開することができ、継続的な活動が見込まれることから、有効性も大きいと考えられ、市民すべてを対象とした草の根交流を促進している。</p> <p>事業に参加する外国人は600人程度で推移しているが、成果向上の余地があり、また、課題となっている。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

輪島市地域間交流事業

[1239]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0302	実施計画	対象
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	国際交流・地域間交流の推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・輪島市民 ・市観光協会 	<p>平成23年3月に石川県輪島市と「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結し、これを機に地域間交流を進めている。</p> <p><地域間交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民祭で輪島市の御陣乗太鼓を公演(H24~) 市民祭で輪島市特産品PR販売(H24~) 輪島市白米千枚田オーナー制度に会員登録(H25~) 白米千枚田で行う「あぜのきらめき」で使われているペットボトル(LED照明)と同じ物を使い、田んぼイルミネーションを実施(H25~) 参加者を市民公募し、白米千枚田で田植えツアー(H26~) <p>平成27年度から尾張旭市観光協会に事業委託</p>
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時に支援できる関係性が保たれるよう、観光・物産・特産品・伝統芸能等を通じて石川県輪島市と地域間交流が行われている。 ・輪島市の白米千枚田オーナー制度に参加し、市民レベルでの交流が図られている。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	輪島市との地域間交流の取り組み	種類	5	5	5	5
成果指標	千枚田での田植えツアー参加者数	人	32	23	40	29
事業費 計			686	680	681	681
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	686	680	681

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	(状況)千枚田での田植えツアー参加者数は、H29は、H28と比べ、増加した。
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	白米千枚田に関する観光交流事業については、参加者の増加を図る方法を検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
参加者の募集に際し、広報誌への掲載、市内小学校全児童や公共施設へのチラシ配布により周知を行った。			